

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成22年3月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時42分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	山田喜一 山口陽一 清水弘子 三澤龍夫 鈴木京子 百瀬恵美子 奥津勝子 高橋英俊 浅輪いつ子 竹内恵美子 柴崎 茂 土橋秀雄 渡辺順子
4 説明員	町長 三好正則 副町長 吉川重雄 鈴木総務課長 齋藤主査 相田政策課長 矢野都市計画課長 竹内副技幹 岩本財政課長 森田主幹 二挺木建設課長 平田技幹 露木主任技師
5 職務のため 出席した職員	局長 穂坂 優 書記 岩田隆吉
6 協議等の事項	(1) 視察の受け入れについて (2) 議会報告会について (3) 吉田邸基金について (4) その他
7 その他	

(1) 町長あいさつ

あいさつの中で、「旧吉田茂邸再建基金の活動状況」、「町長と語り合う集い」、「ひらつか・おおいそ ごみ減量化フォーラムの開催」、「第 53 回大磯西行祭」、「たかとり幼稚園竣工式」、「町有地の売却」、「スーパー防犯灯の設置・稼働」、「津波警報発令による警戒体制」、「ごみ処理広域化に伴う平塚市のし尿搬入の地元説明会」、「二宮町の平塚・大磯ブロックごみ処理広域化への復帰」、「機構の室の見直し」、「職員による不祥事」に関する最近の町の動きの話があった。

◎主な質疑

問. 職員の不祥事の内容は。

答. サザエを採取した漁業法違反である。事情聴取した後、考査委員会で処分を決定したい。

問. 月京幼稚園の売却の金額はいくらか。

答. 月京幼稚園は予算額で 3 億 1,700 万円を計上している。

(2) 町報告事項

ア 平成 21 年度大磯町土地開発公社事業計画の変更及び補正予算について事業計画に「歴史的建造物保存活用事業」を追加するとともに、予算の総額に 1 億 6,000 万円を増額して総額が 2 億 4,900 万円となった。

◎主な質疑

問. 旧山口邸の町長から公社への買い取り依頼はいつあったのか。

答. 平成 21 年 11 月 9 日に取得の依頼があった。

イ 旧山口勝蔵邸に関わる平成 22 年 3 月 8 日（月）付け神奈川新聞記事への対応について

3 月 9 日に神奈川新聞社社長あてに旧山口勝蔵邸に関わる平成 22 年 3 月 8 日（月）神奈川新聞記事に対し抗議し訂正文を掲載するよう文書で要請した。

◎主な質疑

問. この後、町はどのようにしていくのか。

答. 8 日当日に担当記者は訂正できないという話であったが、この抗議文を出した後は、持ち帰って検討をさせていただくということになっている。引き続き訂正を求めていきたい。

問. どのような取材でどんな質疑応答があったのか。

答. 公社の基金積立金は、基金借入限度額まで借入れした 1 億 2,100 万円である。いくらで買えるのということは交渉中でわかりませんと答えた。金額は交渉中だからいくらと記事に書かないよう釘をさしておけばよかった。

問. 町は、交渉先の方々に新聞記事の内容は事実と違っていることを伝えているか。

答. 所有者のランドコムにはこの訂正文をもって説明している。根抵当権者の群馬銀行には弁護士を通して町の考えを伝えている。

問. 交渉している相手先はどこか。また競売の回避の見込みは。

答. 所有者、差押者、根抵当権者と面談して打ち合わせている。競売の回避はわからない。

ウ 下水道の工期について

大磯 38-1 汚水幹線整備工事の馬場公園より東側の町道幹 21 号線で道路陥没が生じ、これに対する原因究明と今後の対策のため工期の延長と来年度への事業の繰越しを行うことになった。

◎主な質疑

問. 区長への説明はすんでいるのか。

答. まず議会への報告と考えていたので、区長等へはまだ説明は行っていない。

問. 今後の整備計画への影響は。

答. 不動川の所を越えるのが平成 22 年度、国府支所から石神台が平成 22・23 年度を予定しているので、幹線の計画への影響はない形で進めている。

(3) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略

(4) 協議事項の結果

ア 視察の受け入れについて

議会基本条例の視察受け入れ体制については、百瀬議会運営委員会委員長が 3 案ほど作成し次回の議員全員協議会で検討することにした。

なお、3 月 26 日の水俣市の視察は、山田議長、山口副議長、百瀬議運委員長、清水議運副委員長、土橋議員の 5 名で対応することにした。

イ 議会報告会について

前回の議員全員協議会で決めた 5 人のメンバーにより 4 月 16 日までに議会報告会の内容を詰めて、4 月の議員全員協議会に報告することにした。

ウ 吉田邸基金について

旧吉田邸の再建について意見交換を行った。

◎主な意見

・吉田さんを顕彰するためのイベントなどソフト事業を考えていくこと

が大事である。

- ・町民にはっきりした再建の姿をもっと打ち出していく必要がある。
- ・2月5日のシンポジウムを報告書としてまとめる必要がある。
- ・基金への寄附者を何らかの形で顕彰することが必要である。
- ・議会は長期的な視点で知恵を出していくことでいいと思う。

エ その他

(ア) 東海大学への要望について

「東海大学医学部附属大磯病院の産科診療の早期再開について」の要望を町長と議長の連名でしていくことで町と協議をすることにした。

(イ) 国際学園の見学について

日程を調整して希望者が見学に行くことにした。

(5) 報告事項

ア 町長との定例会・・・山田議長報告

4月から月に1回、月の初めに町長との定例会を行うとの報告があった。

イ その他・・・山田議長報告

人間国宝「永山光幹」と六所神社「類社会」総会についての報告があった。

ウ 事務局から報告

「政務調査費の書類の提出」と「会議録の購入希望」についての報告があった。